

- ① … 西武台が4年振り8度目の優勝～令和元年度学校総合体育大会兼全国高校総体サッカー大会埼玉県予選2019年度第1回理事会を開催・「eスポーツ選手権」埼玉県代表決定戦は8/18(水)埼玉スタで開催
- ② … 公益財団法人埼玉県サッカー協会「功労賞」授賞式開催
- ③ … 座談会 暑熱対策について考える～現状。変革に向けて、ここからが第一歩～
- ④ … 座談会 (続き)
- ⑤ … 座談会 (続き)
- ⑥ … 大会記録●県内大会 1種・2種・4種
- ⑦ … 大会記録●県内大会 女子・フットサル 大会記録●県外大会 1種
- ⑧ … 大会記録●県外大会 1種・2種・4種・女子・シニア 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

西武台が4年振り8度目の優勝 ～令和元年度学校総合体育大会兼全国高校総体サッカー大会埼玉県予選

6月23日、NACK5スタジアム大宮にて「令和元年度学校総合体育大会兼全国高校総体サッカー大会埼玉県予選」の決勝戦が行われました。今年度から登録チーム数の関係から出場チームが2から1に減ったことにより、決勝戦は大いに盛り上がりました。

結果、西武台が谷直哉選手のハットトリックの活躍もあり、初出場を目指す聖望学園を3対2で下し、4年振り8度目の優勝を果たしました。

西武台は7月27日の2回戦、高知と松本国際の勝者と戦います。



優勝 西武台高校



決勝 西武台 vs 聖望学園

2019年度第1回通常理事会開催

5月30日、ラフレさいたまに於いて19年度第1回通常理事会が開催されました。協議事項として18年度の事業報告および決算報告がなされ、報告事項として功労賞受賞者の追加などが報告されました。本年3月、「SFA フットボールセンター」の開所に伴う事業の転換期、さらに令和の新時代を迎え、SFAはさらに普及・育成・強化のバランスをとりながら事業を展開して参ります。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

「eスポーツ選手権」 埼玉県代表決定戦は8/18(日)埼玉スタで開催

第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体2019」が開催されます。その中で「全国都道府県対抗 eスポーツ選手権」が初め

て国体の文化プログラムに加わることになりました。近年とくに注目を集めている、コンピュータゲームで日本一を決める大会。「ウイニングイレブン」部門では、少年の部(高校生)およびオープン部門(年齢制限なし)の2部門で現在、都道府県代表決定戦が全国で展開されています。

埼玉県の代表決定戦は8月18日(日)、埼玉スタジアムで開催されます。詳細は下記サイトでご確認ください。

<https://e-football.konami.net/kokutai2019/>



公益財団法人埼玉県サッカー協会「功労賞」授賞式開催

5月30日、ラフレさいたまにおいて「公益財団法人埼玉県サッカー協会 功労賞授賞式」を開催しました。今回は2001年以降の優勝を果たした国体少年男子、天皇杯で12大会ぶり7回目の栄冠に輝いた浦和レッズ、そして初のFIFA U-20女子ワールドカップを制した池田太監督（武南高校卒）と選手たちが授賞されました。おめでとうございます。

No.	受賞者氏名 受賞チーム名	受賞理由
1	横山 謙三	(公財)埼玉県サッカー協会の役員として長年にわたりご尽力された。
2	星野 隆之	(公財)埼玉県サッカー協会の役員として長年にわたりご尽力された。
3	後藤 英二	30年以上にわたり地元川口市の役員を始め、南部地区役員・少年連盟の理事などを歴任。埼玉県の少年サッカーの普及発展に努めた。
4	国体少年男子	2018国民体育大会 福井しあわせ元気国体 サッカー競技 少年男子種別 優勝
5	浦和レッズ	天皇杯 JFA第98回全日本サッカー選手権大会 優勝
6	南 萌華	FIFA U-20 女子ワールドカップフランス2018 優勝
7	高橋 はな	FIFA U-20 女子ワールドカップフランス2018 優勝
8	池田 咲紀子	第18回アジア競技大会 優勝
9	菅澤 優衣香	第18回アジア競技大会 優勝
10	池田 太	FIFA U-20 女子ワールドカップフランス2018 優勝
11	UILANI FC	JFA第30回全日本U-30女子サッカー大会 優勝



鈴木会長ご挨拶



横山謙三さん



星野隆之さん



後藤英二さん



国体少年男子・大野恭平監督



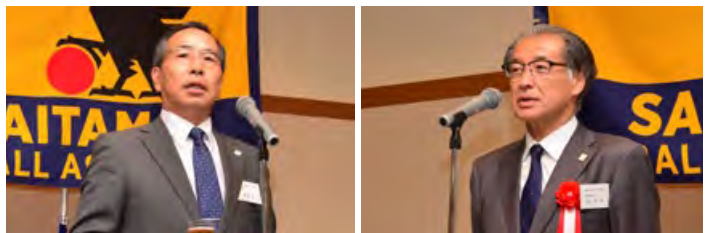
浦和レッドダイヤモンドズ・立花洋一社長



池田 太さん



UILANI FC・松本あゆみ選手



座談会 暑熱対策について考える

～現状。変革に向けて、ここからが第一歩～



暑熱対策は本当に待たなしというところに来ています。まずは今回、各種別での対応を提示していただきました。グラウンドの問題、大会の日程など、この場だけではクリアにできない課題が出てくる中、「安全」を第一としたサッカー振興をどうすればいいのか。関わる皆さんに意識してもらうための大きな一歩となりました。

参加者：都所亮介(3種委員長)、東島雅之(4種委員長)、秋谷 仁(シニア委員長)、渡辺典子(女子委員長)、宮崎剛雄(フットサル委員長)
司会進行：荒川裕治(広報委員)

東京都少年連盟の記事

——朝日新聞の朝刊(5月19日)の1面に「東京都少年サッカー7・8月の公式戦禁止」という記事が出ました。関係各所では非常に印象的なニュースとして捉えられたと思います。もともとはこの記事を題材にして皆さんに現状報告とこれからを議論していただきたいと考えて、ご参集していただきましたが、なんだか違うようですね。まずはその説明を東島さんからお願いできますか。

東島 記事そのものは読んでいなかったのですが、周囲から「読んだ？」と連絡が入りました。またSFAにも保護者の方から電話があったそうです。「埼玉は7月、8月になぜ大会をやっているのか？」と。



東島委員長

事実確認をしたところ、東京の吉実雄二委員長から「そんなことはない。そんなことは言っていません。間違いです」という答えをもらいました。何が違うかという点、

- ・ 7・8月→7・8月の夏休み期間
- ・ 公式戦禁止→中止、順延
- ・ 全面的に禁止→全面的に削除。禁止は中止、順延
※気象データ数値&現地の計測での開催検討
- ・ 熱中症対策で一律公式戦の開催を禁じるのは
……一律→削除
禁じるのは→ガイドラインで安全を確認できない会場(試合)は中止、順延

吉実委員長としては、朝日新聞に抗議をして訂正を求めたそうです。ただ、訂正はできないということで別の記事で違う旨の話を書くということになったんです。5月21日の夕刊に改めて記事が出たそうですが、委員長としては本意なものであったので、再度訂正を求めているそうです。

記事の内容を確認させてもらえばいいのですが、それができないというんですね。

——新聞は記事の確認はできないんですね。雑誌だと、取材対象に確認してもらうこともあるんです。要は違うということなんですね。

東島 そうなんです。私としても記事には驚きました。東京は埼玉以上にチーム数が多い中、試合日程が取れずに苦労しています。この場をお借りして、説明させていただきます。

——ありがとうございます。では、そのまま4種から行きましょうか。東島さん、続けてお願いできますか。現状をお教えてください。

東島 はい。7月の上旬は全県で4種リーグをやっています。ただ7月、8月のSFAとしての主催大会はそこだけです。もちろん、JFAからのガイドラインに沿って、試合運営をしています。ですから、保護者からお問い合わせがありましたが、そもそも大会そのものの日程を組まないようにしています。

ただし、地域・地区では大会をやっています。どう対応するかは地域・地区で検討していただくしかありません。これまでやってきた招待試合、フェスティバルなどを無くしてしまうのは難しいことですからね。

また中学や高校の指導現場でもよく耳にしますが「ひと夏超えると成長する」という話は小学生年代も同じなんです。練習も含めて、一概に「止めてほしい」とは言えないのが実情です。夏場においては、体調管理はもちろん、当日の水分補給や休憩、そしておかしいと思ったらすぐに病院に行くようアドバイスしています。JFAからガイドラインが出たときに、4種として各チームへは文書を出しましたから、順守していただくしかありません。

個人的に思うのは、指導者の意識です。いくら注意していても、見切れないこともあります。子供たちもケガをしているのに、休めないからと包帯を外してくることもあるんです。こういうところは親御さんとのコミュニケーションが不可欠。また練習を一回でも休むとレギュラーになれないと思っている子供も多く、やはり指導者次第なのかなと。もっと子供たちを見るにあたり、角度を変えて見てあげてほしいものです。

——チーム内での競争もあるでしょう。指導者の思いもあるでしょう。しかし、安全が一番ですね。ありがとうございました。では続いて、3種の都所さん、お願いします。

中体連は厳格

都所 よろしく申し上げます。中体連は7月に県大会があり、そのまま関東大会、8月の後半に入ってから全国大会と続きます。ただクラブは、全国大会は北海道でやりますが、7月上旬から8月下旬というのは基本的に公式戦はなく各チームでの活動ですね。これが大まかな流れです。



都所委員長

3種も県内でリーグ戦を行っていますが、7月中旬から8月は外してあります。ただ6月、9月はありますので、暑くて危険かなと思われる場合は延期にしています。悪天候の場合の一つだという認識です。また前日から暑さが予想されている場合は、前日に延期をアナウンスするようにしています。

もちろん県リーグは、数回延期になりました。クラブの運営担当の方たちはかなり気を遣ってくれていて、頻りに連絡をいただいていた。厳格なのは中体連ですね。暑熱対策については、こまめな水分補給を促しました。文科省や県教育委員会から文書も出ましたし、校内でも口頭での注意もありました。というのは、体育の授業で水泳をしていても熱中症になりますからね。——授業中、それも水泳ですか。

都所 はい、外気温に加えて水温も高くなると体の熱が逃げにくくなります。泳ぎ続けていると実はたくさんの汗をかいているので脱水状態になることもあるんです。また見学者も含めての対応になります。とにかく学校現場は、熱中症に対して神経を使っています。しかし、大会についてはシビアです。「ここまで」という日程の限界もありますし、予算にも限りがあるので、延期できずに試合を行わなければなりません。そのためにはこまめな水分補給をして、我々もメントを準備し、できればエアコン付き控室がある施設があるといいのですが……。ある市町村では、気温が35℃以上になったら屋外での運動は禁止になっています。それで練習試合が中止に、ということもありましたね。

あと昨年の事例では、県大会への出場が決まったある中学の

話ですが、暑いからと学校全体で部活動中止が続き、練習ができなかったそうです。そうしたら、試合当日、本番の試合の前のウォーミングアップで暑さにやられて選手が熱中症になってしまいました。

——汗腺が開かないままだったんでしょうね。

都所 そうです。よく日本代表が東南アジアで大会がある場合、事前に合宿をやって汗腺を開くのと一緒に。だから、余計に悪くなったそうなんです。加減が難しいのですが、ある程度は練習をしていなければ試合になりません。

また大会の運営側としては、できれば気温が上がり切らない時間帯に試合をしたいのですが、グラウンドの管理の問題でできないじゃないですか。15時以降でも35℃を越えている日はたくさんあります。JFAからのガイドラインをもとに暑い時間を避け、仮に15時過ぎからウォーミングアップをして16時ぐらいにキックオフとした場合、30分ハーフですので17時を回ってしまうので、施設側から許可が下りません。関東リーグの話になりますが、夕方からの試合で終わるのが19時くらいだとすると、場所にもよりますが帰宅するのに2時間程度かかることもあります。試合ができるといっても、帰りが21時や22時になるのでは、中学生年代の生活面を考えると難しいわけですね。

——施設側のことを考えると、一概に時間変更というのも難しいわけですね。

都所 仲間うちでは「もう、山の上くらいしかないだろう」という話が出ているくらいです。ちなみに、中体連の関東大会の1回戦は4会場それぞれ2試合ずつ行うのですが、今年の開催地である東京では8会場を押さえて、それぞれ1試合ずつ行うことになりました。東京のように施設がある都県はいいのですが、どのように対応するかは本当に難しいことです。施設の管理者に対して、我々の立場でお願いしても、なかなか聞いてはいただけません。しかるべき立場の方たちに動いてもらうしかないと考えています。もっとしかるべき立場の皆さんには、この暑熱対策について真剣に考えていただきたいものです。

——ありがとうございました。

秋谷 暑さや雷を想定して、施設の利用時間をさらに2時間、3時間と伸ばすことは無理ですね。

都所 延期にできればいいのですが、日程が詰まっている大会は無理です。伸ばすにしても、照明を使うとなれば、それなりの予算も必要となります。

秋谷 そうですよ。

——それではそのままシニアの秋谷さん、お願いできますか。

テントなど備品の問題も

秋谷 はい。シニアは県内の大会については、すべて自分たちでルールを決めて開催、運営しています。県内の大会もそうですが、関東大会や全国大会も夏場にはやりません。特に8月には一切試合を行わないというのは、徹底しています。実際、7月の第3週目から9月第1週目までは日程を組んでいませんから。

2016年にJFAから通達があった際、みんなでルールを決めました。WGTPの温度計を買い、試合会場に下げて測り、飲水タイムだけでなくクーリングブレイクもしっかりやろうという話になりました。だから各試合の記録用紙には、項目を作って飲水タイムなどの有無を記入するようにしています。気にすることが大切だと思いますね。



秋谷委員長

そうそうテントを買いましたよ。0ー40、50、60、70とそれぞれに……21張りかな。ただ、あんまり高いのは買えないので壊れちゃうんですよ。だから毎年買うことにしています。

問題は12月末までの会計報告ですね。これを考えるといくら延期にしても、終わらせなければなりません。実際、雨の影響で延期しただけで、10月になると毎週試合になってしまいます。我々現役世代で家庭を持っている立場

で、毎週サッカーの試合で家を空けるというのは問題です。——ちなみに延期になった場合のグラウンドの確保方法はどうされていますか。

秋谷 探し直しです。みんなで探して取れるかどうか。金額は関係ないです。

——ただ延期にすればいいという話ではないわけですよね。学校のグラウンドでできる種別はまだ対応方法があるのでしょうか、お金がかかりますね。

東島 4種もテントを東西南北にそれぞれ4セット買いましたね。

渡辺 保管場所、難しくないですか？

秋谷 「物置ある？じゃあ頼むね」って感じですね（苦笑）。本当は会場にあってほしいですね。正直、預かってもらっても、受け渡しをしなければならぬこともありますから。

宮崎 試合会場に無いんですか？

都所 中学では古いテントはありますけどね。

渡辺 ワンタッチじゃないから組み立てに時間がかかるし、ケガすることもあるんですよ。

宮崎 そうなんですか。地元でサッカー場を作ることになったので、テントなどの備品を揃えるよう要望書を書きましたよ。

都所 安全への意識をもっと高めるべきですね。テントを張ればいいというものでもありません。現場では相当危機感を持って取り組んでいますが、施設側、それを管理する行政の意識がまだまだです。

——我々は組織として、啓蒙していくしかないでしょう。では渡辺さん、女子はいかがですか。お願いします。

大会日程の変更が急務

渡辺 JFAが示しているガイドラインに応じて試合運営をしていただいています。できるだけ試合は暑い時間帯は外しましょうと言っていますが、練習をどうしているのかわかりません。

大きな課題ですが、指導者の皆さんには、まずは命を守るというところから逆算して、対応してほしいものです。指導者それぞれに思いはあるでしょうが、命を守るということは外さないと指導してほしいものです。

実際問題として、女子サッカーが普及する中で試合が多くなっています。それでも「まだやりたい」という声が多く聞こえてきます。見てみると「大丈夫でしょう」と、ガイドラインをかいくぐって試合をしているチームもあるようです。ですが、そこは冷静に考えないといけません。確実に日本の気候は変わってきているのですから。

時間を午前中にするとか、夕方から夜にするというのであれば、グラウンドに照明をつけることもガイドラインの中に入れてもらいたいものです。

都所 夜になってもサッカーをしたいというニーズはありますが、19時、20時に終わってから帰るとなると交通事故などの心配も出てきますよね。

渡辺 そもそも夏休みに大会をするから、この時期に試合日程が過密になるんですよね。秋休みにしてもらえれば、また変わるのではないのでしょうか。

都所 暑いから夏休みにしているんですけどね（笑）。

宮崎 平日の授業時間を短くして、部活動ができる時間を確保するのもいいのではないのでしょうか。その分、夏休みを短くすればいいと思うのですが。

渡辺 立場上、中体連の話をしてしまうのですが、全国大会と関東大会の日程を根本的に変えないと難しいですね。

また女子に戻りますが、選手たちを見ていると施設が無い中で「よくやっているな、タフだなあ」と思うことが多々あります。ホント、掛け持ちで試合に出たりしていますから、休みがないんですね。がんばりすぎて、バーンアウトしてしまうのではないかと心配しています。そんな中で、高校女子もリーグ戦が始まりま



渡辺委員長

した。確かに競技人口が増えたので、大会というか試合数は増やさなければならないとは思いますが……。

宮崎 そもそもサッカーができるグラウンドの数が少ないじゃないですか。まだ野球場は増え続けているのに。——外野が芝ならば、サッカーゴールを運んでやれるといいのですが。

東島 昔、県営大宮球場でサッカーをしましたよ。生涯スポーツのイベントで、大宮公園サッカー場からゴールを運んだのを覚えています。だから、やろうと思えばできるんですよ。

あとは河川敷のグラウンドを、安全に使えるようにするにはどうすればいいのかなんですよ。

——考え方次第なんですよ。あと、女子はこれから試合数が増えるんですね。ありがとうございます。では最後になりましたが、宮崎さん、お願いします。フットサルはいかがでしょう。

子供たちへの対策指導

宮崎 皆さんと違ってフットサルは室内、体育館で行いますので、まず太陽光は入ってきません。また、バドミントンほど神経質にはなりません、風が一方向的に吹くようでは困るので窓は閉めます。

すると室温が上がるんですね。温度だけでなく湿度も上がってくることから、やはり屋内でも熱中症にかかることはあるんです。ですから、試合と試合の間、ハーフタイムには必ず換気を行います。ベンチ横には大型扇風機を置き、本部には氷やドリンクは常備されています。実際、選手などに熱中症の疑いのある場合、皆さんと違うのはどこかにクーラーの効いた部屋があるということでしょうか。すぐに休ませてあげることができる利点があります。

今年からU-18リーグを立ち上げましたが、主体は社会人なので自己管理はある程度できています。熱中症にかかることは、まずありえないと考えています。また、フットサルという競技は自由に交代できますから、ベンチに戻れば必ず飲水をします。ですから、これからは子供たちへの対応が急務です。U-15、U-12のリーグを立ち上げることを検討していますから、ここは徹底しなければなりません。

余談ですが、いい会場は全館冷房になっています。そういう施設が増えてくれればと願っています。逆に中止、延期はほぼできません。他の競技やイベントの予定がすでに入っていますから、取り直しはできません。あと、アンダーのリーグを始めるに際して、公共の体育館って、最寄りの駅から遠いんですね。こういうインフラも考えなければならないと思っています。

——フットサルはフットサルとして、いろいろあるんですね。ありがとうございます。室内だから安心ではないというのがよくわかりました。

さて1種の植松さん、2種の田中さんが欠席なのですが、私が県社会人連盟の理事しておりますので、1種・社会人のお話を軽くさせていただきます。

今年から、毎年夏に開催されてきた「県民総体」という市町村対抗の大会を1月から3月に移行しました。一度は真夏に開催しているからという理由で、大会そのものの廃止も検討されましたが、日程的に内部で検討した結果、移行できました。これが一番大きい話題かもしれません。

あとリーグ戦について、昨年富岡孝三会長から7月、8月のリーグ戦は中止にしたいという意向が出されましたので、来年度に向けて具体的な調整を行うこととなります。

ちなみに関東リーグは、最近よく中止、延期という話があります。先日、私がマッチコミッショナーとして担当した試合会場では、撤収時間が決まっており「雷待ちをしたくとも、ほぼ即中止にします」と言われました。改めて、施設管理者への交渉は難しいと感じたところです。ハード面、難しいですね。



宮崎委員長

秋谷 一つ、忘れていました。シニアって、前年の予選会(県大会)の結果で関東大会へ出場するんですね。もちろん、その年に結果を出して関東へ行きたい、勢いに乗ってという声はあるのですが、そういうルールにしています。シニアは本当に消化できなければ、打ち切ることもあります。

都所 3種の関東リーグですが1部、2部のチーム数を12から10にしました。やはり予備の日程が取れないということでしたね。

宮崎 先ほどのシニアの話ですが、他の種別、特に学校が主体の種別はできない話ですね。1年1年が単位ですからね。

渡辺 あとは種別に日程をずらして、限られた会場を上手く使っていくということも検討したいところです。

宮崎 土日に準決勝、決勝を開催するのは親御さんのためですよ。そういうことを踏まえて全体的にコントロールする必要性があるのではないのでしょうか。

渡辺 大会ができないのに試合をしなければならないのであれば、大会そのものを削らなければならないでしょうね。

宮崎 審判の割り振りを見ていると、時期的にも偏っていますよね。

秋谷 ただ、SFA主催大会だけでなく、各市町でもリーグ戦を行っています。そういう大会の試合数を考えると絶対的に施設が足りないということになります。

——環境面の改善は急務ですね。SFAフットボールセンターとして2面できましたが、まだまだ足りませんし、既存の施設においては質も求めていかなければならないでしょう。この点については施設委員会を通じて意見をまとめていただきたいと思います。

あとは大会そのものの問題ですね。関東大会、全国大会の日程が、本当に現状のままでいいのか。また大会そのものを減らすか、兼ねることはできないのか、などという課題もあります。まずは安全を第一にした大会運営ありきでしょうか。そこから課題解決を真剣に議論していただきたいと思います。今回の座談会が、その一歩となれば幸いです。

宮崎 最後に、先ほど秋谷さんからの話にもありましたが、大会日程の調整を行うということは、大会会計の締め切り問題も出てきます。様々なことをリンクして考えないといけませんね。——大会会計の締め切りというのは、まさにここにお集まりいただいたメンバーだから出てくる課題ですね。また情報交換を兼ねて、お集まりください。今日もありがとうございました。

植松孝博・1種委員長

「基本的にはWBGT測定を始めてから対策を講じております。JFAや日本スポーツ協会の指針、何よりも安全第一を基準として運営しており、飲水、クーリングブレイクなども積極的に実施しています。大学の公式戦ではWBGT測定値以外にも体感温度や環境面を考慮して、ナイター開催、早朝開催もしています。

とはいえ、日程消化を考えたときに会場確保に限りがあり、時期的なゲリラ豪雨、雷雨など延期、中止にせざるを得ない状況がどのカテゴリーでも頭を悩ませる問題です。

それでもグラウンドを保有している大学リーグでは、ある程度余力を持たせ日程消化ができていますが、社会人、自治体では借用グラウンドが大きな割合を占めている事や代替会場が難しい事が問題です。更には仕事や家庭といった『サッカー以外』の環境にも影響が考えられ、多少無理をして開催することもリスク管理としては必要かと思われれます。

また、暑さ対策の問題となるとナイター開催を設定した場合、ゲリラ雷雨も予想されます。どうしてもベストな環境(避難場所など)がどの会場にもあるわけではなく、会場ごとに環境等も異なることから、ローカルルールを適用するのが最善策として、運営サイドに一任しています。

暑さの中で実施するのであれば過剰なリスク管理が必要になり運営負担も増えますが、やらずして後悔はしたくはないです」

大会記録 ● 県内大会

1種

第48回全国自治体職員サッカー選手権大会埼玉県予選

4月27日～5月25日 堀崎公園サッカー場他

春日部市	1	0	2	さいたま市
上尾市	2	2	3	八潮市
埼玉県庁	3	2	2	狭山市
川口市	1	6	0	東松山市
川越市	1	2	1	朝霞市
所沢市	3	0	4	川口市

※優勝は川口市役所。上位3チームが南関東予選へ出場

2019年度 彩の国カップ 第24回埼玉県サッカー選手権大会

5月11日 埼玉スタジアム2002

決勝 東京国際大学FC 0 - 5 東京国際大学体育会サッカー部



決勝 東京国際大学FC vs 東京国際大学体育会サッカー部

2種・高体連

2019年度関東高校サッカー大会埼玉県予選

4月13日～29日 埼玉スタジアム第2グラウンド他

昌平	2	0	4	西武台
埼玉栄	3	0	0	熊谷
武南	2	3	6	ふじみ野
浦和南	0	3	1	国際学院
西武文理	2	0	0	成徳深谷
本庄東	4	0	2	浦和東
細田学園	0	5	0	東農大三
聖望学園	1	5	1	正智深谷

※優勝した武南と準優勝の浦和東は関東大会へ出場



優勝 武南高校



準優勝 浦和東高校



決勝 武南 vs 浦和東

令和元年度学校総体兼全国高校総体サッカー大会埼玉県予選

6月8日～23日 NACK5スタジアム大宮他

武南	3	3	1	2	聖望学園
成徳深谷	0	2	0	0	慶應志木
浦和西	0	2	1	2	細田学園
埼玉栄	2	2	0	0	花咲徳栄
正智深谷	0	1	0	0	早大本庄
立教新座	4	2	1	1	埼玉平成
浦和南	2	4	0	2	国際学院
西武台	2	2	0	1	浦和東

※優勝した西武台は本大会へ出場する



決勝 西武台 vs 聖望学園

4種

第43回関東少年サッカー大会 埼玉県大会

6月23日・30日 与野八王子グラウンド・埼玉スタジアム第2グラウンド

江南南サッカー少年団 [A]	1	0	2	0	FC arco iris m
大宮アルディージャU12	0	8	2	2	浦和レッドダイヤモンズジュニア
勝瀬ふじみ野サッカークラブ	1	3	3	1	1FC川越水上公園
江南南サッカー少年団 [B]	1	1	0	0	FC Gois YANAKA
NEOS Football Club	0	1	1	2	ペラーダジュニアーズ
レジスタFC	2	2	1	0	FC KAZO U-12
FCリアル	2	2	1	0	KIDS POWER.SC
上尾朝日フットボールクラブスポーツ少年団	0	0	1	0	プログレッシブサッカークラブ

※上位3チームは、8月に神奈川県で開催される「2019フジパン CUP 第43回関東少年サッカー大会 in 神奈川」に、埼玉県代表として出場する



決勝 江南南サッカー少年団 [A] vs 浦和レッドダイヤモンズジュニア

2種・高体連

令和元年度第62回関東高等学校サッカー大会

6月1日～3日 カシマスタジアム他

●Aグループ

1回戦 武南 3 - 3 日大藤沢 (2PK4)

●Bグループ

1回戦 浦和東 1 - 0 東久留米総合

2回戦 浦和東 0 - 2 佐野日大

※優勝は國學院久我山



Aグループ1回戦 武南 vs 日大藤沢



Bグループ1回戦 浦和東 vs 東久留米総合



Bグループ2回戦 浦和東 vs 佐野日大

4種

第28回ガールズサッカー埼玉カーニバル2019

6月9日 さいたま市八王子公園サッカー場



※優勝はパディFC(東京)

女子

令和元年度第62回関東高等学校サッカー大会

6月1日～3日 カシマスタジアム他

1回戦 花咲徳栄 0 - 3 湘南学院

※優勝は十文字



1回戦 花咲徳栄 vs 湘南学院

第24回関東女子ユース(U-15)サッカー選手権大会 兼 JFA 第24回全日本U-15女子サッカー選手権大会関東予選

6月8日～16日 群馬県草津町総合グラウンド

1回戦 暁星国際中学校 0 - 2 白岡SCL
小美玉フットボールアカデミー 1 - 1 GRAMADO FC TOKINAN (2PK4)

2回戦 浦和レッズレディースジュニアユース 6 - 1 白岡SCL
VONDS市原FCレディースU-15 0 - 2 1FC川越水上公園メニーナU-15
GRAMADO FC TOKINAN 1 - 2 日テレ・メニーナ・セリアス

準決勝 浦和レッズレディースジュニアユース 3 - 0 日テレ・メニーナ・セリアス

決勝 浦和レッズレディースジュニアユース 2 - 0 スフィーダ世田谷FCユース

※優勝は浦和レッズレディースジュニアユース。1FC川越水上公園メニーナU-15を含め上位9チームが本大会へ出場する

シニア

JFA 第7回全日本O-40サッカー大会関東予選会

5月4日、5日 千葉県営総合スポーツセンター サッカー場

B組 FC西武台シニア 1 - 2 山梨マスターズ
FC西武台シニア 3 - 2 ドリーム水戸シニア
FC西武台シニア 0 - 0 関南SCグランデ

5位決定戦 FC青山シニア 1 - 2 FC西武台シニア

※優勝は西湘WingsFC。上位3チームが本大会へ出場する

JFA 第18回 全日本O-50サッカー大会関東予選会

4月27日、28日 市原市スポレクパーク

A組 FC浦和シニア 0 - 2 山梨マスターズレジェンド
FC浦和シニア 4 - 1 栃木教員マスターズ
FC浦和シニア 2 - 0 FC前橋50

3位決定戦 FC浦和シニア 0 - 1 川崎シニアSC50

※優勝は山梨マスターズレジェンド。上位3チームが本大会へ出場する

フットサル

第35回全国選抜フットサル大会関東大会

5月18日、19日 館山運動公園体育館

1回戦 群馬県選抜 2 - 3 埼玉県選抜

準決勝 神奈川県選抜 9 - 4 埼玉県選抜

※優勝は神奈川県選抜

JFA 第6回全日本U-18フットサル選手権大会関東大会

6月23日～29日 小田原アリーナ他

●1次ラウンド

DealさいたまU-18 0 - 6 SBFCロンドリーナU-18

編集後記

この原稿を書いている時点で(7月12日)外は雨、少し肌寒さを感じています。昨年の酷暑とは打って変わり…しかし、油断は禁物。この号が出る頃には梅雨も明けて一気に夏らしくなっているかもしれません。体調管理が難しい時期になってきました。各種別委員長にお集まりいただいた座談会、まずはじっくりと目を通していただければ幸いです。(藤田)